# エコアクション21環境経営レポート



2024年度 (2023年10月~2024年9月) 2024年12月9日発行

株式会社メック

# 目次

1	組織の概要	1
2	対象範囲	2
3	環境経営方針	3
4	環境経営目標(次期中期含む)	4
5	環境経営計画(実施体制を含む)	5.6.7.8
6	環境経営目標に対する実績値と評価(全体)	9
7	環境経営目標と計画の結果と評価、並びに次年度の取組み(個別)	10.11.12.13
8	環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無	14
9	代表者による全体の評価と見直し・指示	15

# 1 組織の概要

事業所名	株式会社メック	株式会社メック									
 代表者名	   代表取締役社長 三宅正恭										
 所在地	〒470-0371 愛知県豊田市御	〒470-0371 愛知県豊田市御船町滝128番地									
設 立	1991年1月17日										
資本金	1000万円 従業員数 25名										
売上高	35,694万										
事業内容	自動車部品試作品製造、プレス金型設計試作										
主要取引先	豊田鉄工株式会社、株式会社FTS、トヨタ紡織株式会社、近藤工業株式会社										
		機名									
	各種プレス機 油圧プレス機(600t/250t/200t/100t/30t))など										
	各種溶接機 Tig溶接機 CO2溶接機 スポット溶接機 ロボット溶接機など										
主要な設備	加工機 マシニングセンタ ワイヤー放電加工機 NCフライス盤 3次元レーザー加工機 など										
	3人元レーケー加工機 なこ										
	測定器 3次元スキャナー 3 2	欠元測定器 <b>3 D</b> 測定	データ解析ソフト など								
			データ解析ソフト など								
環境管理責任者	測定器 3次元スキャナー 3	など (学理責任者)	データ解析ソフト など								

# 2 対象範囲

認証登録範囲	全組織・全活動
対象期間	2023年10月~2024年9月
レポート発行日	2024年12月9日

## 3 環境経営方針

#### 環境理念

株式会社メックは、自動車部品の試作及びプレス金型設計製作メーカーとして、環境負荷の 軽減に力点を置き、地域と融和して社業を発展させてまいります。

近年、地球温暖化問題は日を追うごとに深刻な事態となり、地球が病んでいることが大変身近に感じられる事実(事象)が増えてまいりました。

これらを認識する中で、EMSを導入して全員参加で省資源・省エネルギー、ゴミの資源化・原料に継続的に取り組みます。環境に配慮した生産活動を推進し、社会に貢献し、持続的な成長を実現していくことを目指します。

#### 環境方針

- ① 環境に与える影響を削減するために、自主的・積極的に以下の取り組みを行います。
  - 1) 二酸化炭素排出量の削減
  - 2) 廃棄物排出量の削減
  - 3) 資源の節約
  - 4) 効率的な生産の推進
- ② 場内緑化を推進し、緑豊かな事業所作りに取り組みます。
- ③ 環境関連の法規、地域条例・協定を順守します。
- ④ 環境への取り組みを全従業員に教育し、周知するとともに、この活動状況をレポートに まとめ社内外に公開します。

平成30年12月5日改訂 株式会社メック 代表取締役社長

三宅 正恭

## 4 環境経営目標

目標 2024年度~2026年度 (2024年度=2023年10月~2024年9月)

取り組み項目	単位		基準年度 2023年度の 実績値ベース*	2024年度 (-1%)	2025年度 (-2%)	2026年度 (-3%)			
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	目標	194,000	192,060	190,120	188,180			
電力使用量の削減	kWh	目標	417,000	412,830	408,660	404,490			
ガソリン使用量の削減	l	目標	4,700	4,653	4,606	4,559			
軽油使用量の削減	l	目標	2,620	2,593	2,593 2,567				
廃棄物の削減	kg	目標	埋め立	立て廃棄物ゼロ(原	廃棄物の実績値は	把握)			
水使用量の削減	m 3	目標	290 (監視基準)	実績値は把握					
コピー用紙の削減	枚/百万円	目標	73	72	71	70			
工程内不良件数の低減	件	目標	17	16	15	14			

<sup>\*</sup>基準は2023年度の実績値をベースに策定した。

<sup>\*</sup>電力の排出係数は2023年度中部電力ミライズの調整後排出係数0.421kg $CO_2$ /kWhとした。

<sup>\*</sup>廃棄物の削減量は産業廃棄物と一般廃棄物の合計とした。

<sup>\*</sup>水使用量は、監視項目とし実績値の把握のみとした。

# 5 環境活動計画 ①全体(2023年10月~2024年9月)

計画 ○ 実施 ●

確認	作成
三宅	大岩

							日利	呈およて	び特記事	<b>耳</b>						
	実施項目			2023年			2024年							責任者		
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	1
1	前年度活動結果の評価と反省	0														社長・事務局
2	今年度の目標、取組内容の検討	0														社長・事務局
3	活動状況の確認・評価		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		環境委員会 事務局
4	EA21中間/更新審査受審		0												0	大岩
5	環境関連法規の遵守状況確認	0	法規改	定内容	の確認	も含む								0		大岩・事務局
6	省エネ・緑化の検討				0	電気ス	トーブ	更新/点	検	○●雨	水利用	/緑のカ	コーテン	,		業務部長
7	環境美化の実施(外周除草・草刈)			○●花	: 壇更新					○●花	壇更新	〇草刈		〇草刈		業務部長
8	創意工夫特別提案				○●	○● 省エネ				O● 5 S		○● 省エネ	○●		□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	業務部長
	· 確認			关岩	卷	发岩	发岩	关岩	大岩	发岩	发岩	关岩	卷	发岩	卷	

5

株式会社メック

## 5 環境活動計画 ②二酸化炭素排出量の削減(2023年10月~2024年9月)

計画 ○ 実施 ●

確認	作成
三宅	大岩

							日	程およ	び特記等	事項							
	実施項目	2023年									2024年					責任者	特記事項
_		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
	1.電力使用量の削減							目標	412,83	30kWh/	/年以下						
1	生産設備の不要時の電源OFFの実施		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		環境責任者	設備の定期点検の徹底
2	昼休み、10時、3時、及び人がいない時のの照明、クーラーの電源OFFの実施		0	0	0•	0	0	0	0	0	0•	0	0•	0		環境責任者	4月頃より太陽光発 電開始
3	スポットクーラーなど各機械のエ アーフィルターの定期清掃の実施			0								0				環境責任者	エアコンの稼働ルールの徹底
4	コンプレッサーの運転管理とエアー 漏れ対策		0	0	0•	0	0	0	0	0	0	0	0•	0		環境責任者	定期整備厳守
5	工程内不良の削減		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		参与	資格取得者の推進
	2.ガソリン・軽油消費量の削減				目	標	ガソリ	ン:4,6	553ℓ/年	F以下	軽油	: 2,59	3ℓ/年	以下			
1	エコドライブの推進		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		業務部長	
2	生産管理を徹底して物流便の効率化を図る		0	0•	0	0	0	0	0	0	0•	0•	0	0		宮嶋課長	
3	タイヤ空気圧の管理		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		白柳	
4	車両整備の定期的な実施		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		業務部長	
	確認	关岩	关岩	天岩	关岩	关岩	关岩	关岩	关岩	关岩	关岩	关岩	发岩	发岩	失岩		

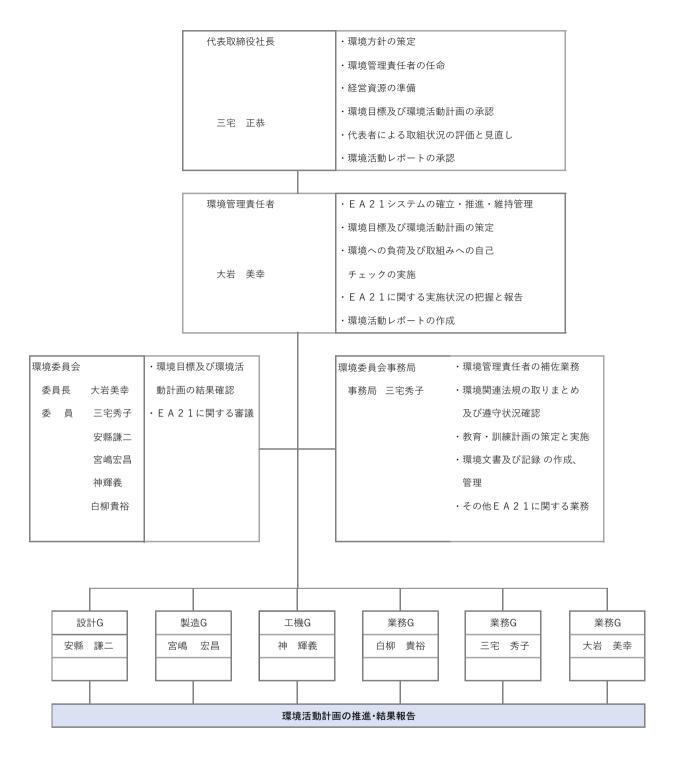
## 5 環境活動計画 ③廃棄物リサイクルの促進 など(2023年10月~2024年9月)

計画 ○ 実施 ●

確認	作成
三宅	大岩

							日	程およる	び特記事	事項							
	実施項目	2023年									2024年					責任者	特記事項
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
	3.廃棄物のリサイクルの促進	廃棄物のリサイクルの促進 目標 ゼロエミッションの維持															
1	仕入れ物品の簡易包装化の推進		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		業務部長	
2	分別の徹底とりリサイクルの促進		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		業務部長	
	4.水使用量の削減							5	実績値の	D把握の	)み						
4	手洗い方法の遵守		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		業務部長	
5	市水の月次管理 冬季特別管理 (零下となった日は14時に配管チェック)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		業務部長	
	5.コピー用紙使用量の削減							目標	票 72	2枚/百万	万円						
1	プリントアウトの裏紙利用の徹底		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		業務部長	タブレット・大型 モニターの導入
2	図面コピーのルールの徹底		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		大岩	ズメーンの導入
	6.効率的な生産の推進							目標	工程内	不良16	件 以 <sup>-</sup>	下					
1	真因を究明して再発対策の徹底を図る		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		惠良	品質会議実施(毎月)
2	ヒューマンエラーの撲滅教育の推進		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		各課長	資格取得の推奨
	確認	大岩	关岩	大岩	天岩	关岩	关岩	关岩	发岩	大岩	关岩	关岩	大岩	关岩	大岩		

#### 5. 環境活動計画(実施体制)



株式会社メック 8

### 6 環境経営目標に対する実績値と評価(全体)

作成日:2024年11月22日

取り組み項目	単位		基準*	2024年度	評価
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	目標	194,000	192,060(-1%)	0
- 政10次条併山里の門/成	kg-CO2	実績	194,000	169,194	O
電力使用量の削減	kWh	目標	417,000	412,830(-1%)	0
电力区用重空的点	KVVII	実績	417,000	365,000	O O
ガソリン使用量の削減	e	目標	4,700	4,653(-1%)	0
カプラン 医用重の削減	r 	実績	4,700	3,894	
軽油使用量の削減	e	目標	2,620	2,593(-1%)	0
	į į	実績	2,020	2,517	
		目標	埋め立て廃棄物ゼロ	(廃棄物の実績値は把握)	
■ ■ 廃棄物の削減 ■	kg	実績	1,214	(1236)	0
		大順	埋立ゼロ	埋立ゼロ	
水使用量の削減	m3	目標	290	実績値把握	0
ハバズハリモックロリルが	1113	実績	230	323	
コピー用紙の削減	枚/百万円	目標	73	72(-1%)	Δ
יייין ניין איייין איייין איייין איייין אייייין אייייין אייייין אייייין אייייין אייייין אייייין אייייין אייייי	[ [ [ ] ] ]	実績	, ,	75	
工程内不良件数の低減	件	目標	17	16	<b>A</b>
- TEL1.1 7X 11 3V へ 157%	11	実績	1,	20	_

<sup>\*</sup>基準は2018年度~2020年度の実績値をベースに策定した。

<sup>\*</sup>電力の排出係数は2017年度中部電力の調整後排出係数 $0.472 {\rm kgCO_2/kWh}$ とした。

<sup>\*</sup>廃棄物の削減量は、産業廃棄物と一般廃棄物の合計とした。

### 7環境経営目標と計画の結果と評価、並びに次年度の取組み(個別①)

環境活動実績を評価・反省し、その結果に基づき今後の進め方の方針としている。 実績評価基準は、◎は120%以上、○は100%以上、△は90%以上、▲は90%未満の達成率を示します。

#### 1) 二酸化炭素排出量の削減

単位=Kg·CO2

		前3か年		新3か年活動				
	2021年	2022年	2023年	基準	2024年			
目標	170,280	168,560	166,840	194,000	192,060			
実績	186,429	134,000	169,194					
達成率	91%	79%	72%		113%			
評価	Δ	<b>A</b>	<b>A</b>		0			

※電力消費量のKg・CO2/Kwh換算は、中部電力-2023年度(0.421調整後排出係数)を使用しています。 ※2024年度より2023年度の実績値を基準年とし目標値を変更しました。

取り組みの評価・次年度方向性

二酸化炭素排出量は、その90%強が電力消費、その他は化石燃料の消費によるものです。したがって、電力の消費低減に重点を置き、全社挙げて低減活動に取り組んでいます。

#### 項目別

#### <①電力消費量の削減>

単位=kWh

		前3か年活動		新 3 た	か年活動
	2021年	2022年	2023年	基準	2024年
目標	331,650	328,300	324,950	417,000	412,830
実績	358,872	393,486	416,396	417,000	365,000
達成率	92%	83%	72%		112%
評価	Δ	<b>A</b>	•		0

取り組みの評価・次年度方向性

新工場の稼働から1年が経過したため、今年度から2023年度を基準に目標設定を行いました。 今年度は太陽光発電の導入を行い、夏頃より発電が可能となりました。落雷による故障もありましたが 平均して1日の電気量の20%程度は太陽光発電で賄うことができています。まだ1年を通しての稼働を していませんが、引き続き消費電力を抑えつつ、快適な働きやすい職場環境を整えていきます。

### 7環境経営目標と計画の結果と評価、並びに次年度の取組み(個別②)

<②ガソリン・軽油消費量の削減>

単位 = ℓ

ガソリン		前3か年		新3	か年
	2021年	2022年	2023年	基準	2024年
目標	3,168	3,136	3,104	4,700	4,653
実績	4,037	5,077	4,724	4,700	3,894
達成率	73%	42%	48%		117%
評価	<b>A</b>	•	<b>A</b>		0

軽油		前3か年		新3	か年
∓±/Ⅲ	2021年	2022年	2023年	基準	2024年
目標	2,534	2,508	2,483	2,620	2,593
実績	2,908	2,574	2,619	2,020	2,517
達成率	86%	98%	95%		103%
評価	<b>A</b>	Δ	Δ		0

取り組みの評価・次年度方向性

今年度より2023年度の実績を基準として目標を設定しました。

夏場にかけての特便の減少によりガソリン・軽油の消費量の減少につながりしました。

社用車・フォークリフトの点検は定期的に行っておりメンテナンスをしています。エコドライブの呼びかけも継続して 行っていきます。

#### 2) 廃棄物の削減

単位 = Kg

		前3か年		新 3	か年
	2021年	2022年	2023年	基準	2024年
目標	埋め立て廃棄物ゼロ	埋め立て廃棄物 ゼロ	埋め立て廃棄物 ゼロ	埋め立て廃棄物 ゼロ	埋め立て廃棄物 ゼロ
実績	835	1284	1214	1214	1,236
達成率	100%	100%	100%		100%

※ 実績値は把握するが評価は埋め立て廃棄物ゼロとする

取り組みの評価・次年度方向性

2013年度からは、廃棄物減量の数値目標は持たず、「分別の徹底活動の推進」を継続して廃棄物の リサイクルにつなげ、ゼロ・エミッションの状態を維持する活動としています。リサイクル物の数値管理は 継続していきます。一般破棄ブルの紙類は全て古紙リサイクル、産業は器物は「破砕固化」による燃料化を 完全実施し、ゼロ・エミッションを達成しています。(機密文書は専用のリサイクルサービスを利用しています)

### 7環境経営目標と計画の結果と評価、並びに次年度の取組み(個別③)

#### 3) 資源の節約

<①水の使用量の削減>

単位=m³

		前3か年		新	f3か年
	2021年	2022年	2023年	基準	2024年
目標	267	265	262	290	-
実績	218.00	294.00	290.00	230	323
達成率	119%	90%	90%		-
評価	0	Δ	Δ		-

取り組みの評価・次年度方向性

今年度より、目標を持たない監査項目として実績値の把握のみとしました。

定期的な漏水チェックと節水の呼びかけは継続して行っていきます。

今年の夏は特に雨が少なかった為、植物への水やりでの使用量が増加しました。また、出しっぱなしの事例もあり、対策を行いました。

<②コピー用紙使用量の削減>

単位=枚/売上百万円

		基準年		新	f3か年
	2021年	2022年	2023年	基準	2024年
目標	74	73	72	73	72
実績	62	49	73	73	75
達成率	117%	113%	99%		97%
評価	0	0	0		Δ

取り組みの評価・次年度方向性

「図面コピーを3部以上禁止」「裏紙の利用」「会議資料のプロジェクター化」の活動を維持していきます。 タブレットの活用・図面管理ソフト導入などの社内のデジタル化も進めています。現場での裏紙活用をさらに すすめていきたいと思います。

### 7環境経営目標と計画の結果と評価、並びに次年度の取組み(個別④)

#### 4) 工程内不良件数の低減

		前3か年		新3	3か年
	2021年	2022年	2023年	基準	2024年
目標	10	8	7	17	16
実績	13	18	17	17	20
評価	Δ	0	Δ		Δ

#### 取り組みの評価・次年度方向性

当社は工程内不良件数の低減の活動を通じて無駄な資源、エネルギー消費を抑え、また技術の向上につながることが、環境経営につながると考え、エコ活動の中に取り込み 展開しています。

今年度は、16件を目標に各グループがチャレンジしましたが目標達成となりませんでした。 20件の不良内容としては、再発を含め図面の確認不足をはじめとするヒューマンエラーが 多数を占めており、各自の品質向上意識のレベルアップが必要となります。資格取得だけでなく、再発防止 の為、見直し活動を行い毎月の課長会で評価確認をしています。

来年度も計画的に指導を行います。また資格取得も積極的に行っていきます。

#### 5) 緑化·環境美化活動

〈緑のカーテン〉

2023年度も、「緑のカーテン」を継続実施し、雨水を積極的に使用しエアコンの使用削減と水資源の有効利用を狙いました。「緑のカーテン」は好評かつ室温上昇抑制効果もあり、次年度も継続実施していく予定です。

#### 〈太陽光発電〉

2024年夏頃より太陽光発電設備を設置し運転を開始しました。

	太陽光出力電力量(kwh)	CO2排出削減量(kg)
2024年度	70,780	29,798

パネル:太陽光モジュール	410W x 559枚
パワーコンディショナー	17.5 k w

売電契約はしていない為、休日等の電力の有効活用を今後検討していきます。

### 8. 環境関連法規等の遵守状況確認計画書・評価表

2015.04.01 作成 2020.09.16 改訂 2023.11.30 改訂

作 成 大岩

1.当社に適用される環境関連法規の遵守状況

監視項目	確認·測定項目	頻 度	確認・測 定箇所	関係書類	確認計画月	評価	評価結果(評価日・是非の有無・その要点)
公害防止組織法	公害防止管理者 統括者の設置	_	_	公害防止管理者 選任届出	_	•	2022.8月届出済
` <b>^</b> // <del>/ db</del> `+	・行者との業務 委託契約書 ・保守点検	自動継続 1回/3ヶ月(本社) 1回/4ヶ月(第2)	\\\ \A. \  \. \Lift	契約書 保守点検報告書	6月10、1、4、7月	•	現在まで管理異常なし(8月まで)
浄化槽法	·11条検査	1回/年	浄化槽	定期検査書	8月	•	検査結果は適正
	・清掃の実施	1回/年		汚水処理施設清 掃報告書	6月	•	現在まで管理異常なし
騒音規制法 県民の生活環 境の保全等に 関する条例	特定施設の届け出敷地境界での騒音	設備変動時	指定観 測点	環境測量士の測定 結果報告書 昼60、朝・夕55、 夜間50dB	設備変動時	•	問題なし
振動規制法 県民の生活環 境の保全等に 関する条例	特定施設の届け出敷地境界での振動	設備変動時	指定観 測点	環境測量士の測定 結果報告書 昼65、夜間60dB	設備変動時	•	問題なし
廃棄物処理法	・廃棄物収集・ 運搬・処理業者 との委託契約 ・マニフェストの 保管 (5年) ・保管場所の確 保と明示(60 c m角) (水銀使用製品の 表示含む) ・飛散・流失・地	1回/年	事務所 及び場所	契約書 収集運搬・処分業 許可書のコピー マニフェストA 、B2, D、E票 チエックシート	9月	•	契約内容問題なし 許可書問題なし 問題なし 問題なし
	下浸透の確認 ・産業廃棄物管理票 交付状況報告書			産業廃棄物管理票 交付状況報告書	6月	•	H29年6月提出
家電リサイクル法	購入店への引渡し	発生都度	_	_	_	-	該当事例なし
自動車リサイ クル法	購入店への引 渡し	発生都度	_	_	_	_	該当事例なし
県民の生活環 境の保全等に	アイドリングストッ プの事業者の指導義 務	都度教育	_	環境教育記録	7月	•	エコドライブ教育の実施
関する条例	駐車場設置者等の義 務			安全運転心得			アイドリングストップの看板設置(09/8)
水質汚濁防止法	油流失確認	緊急時対応	分離槽	_	9月	•	目視点検は1回/月
フロン排出抑制法	フロン類の漏えい確認	1回/3ヶ月	対象機器	各機器点検記録	1	•	問題なし

※騒音・振動は特定施設の変更なき時は年度ごとの測定は省略する。

2. 更新時期

毎年8月の年1回実施します。

- ●は評価・確認結果の「良」を表します 3. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無
  - ・環境関連法規への違反は過去3年間ありません。
  - ・環境関連機関からの訴訟、指摘は過去3年間ありません。
  - ・外部からの苦情等はありません。

## 9. 代表者による全体の取組状況の評価と見直しの結果

環境管理者による見直しに必要なコメント	作成者: 環境管理責任者 大岩 美幸
SKALLE LIVER BALLETING CALLET	作成日: 2024 年 12月 2日
1. システムの有効性の確認	
□目標値未達の項目もあるがシステムとしては有	効に機能している。
2. 環境目標の達成状況	
□目標値の再検討を行い、達成項目が増加した。	
初心を忘れずに活動していきます。	
2 严格注射到面内中族化闪	
3. 環境活動計画の実施状況	> 4△=+1
□太陽光発電を導入しました。有効活用できるよ ■	つ使討していさます。
4. 環境関連法規の遵守情況	
□現在環境関連法規で違反はありません。	
5. 外部からの環境関連の苦情や要望	
□苦情はありません。	
6. 問題点の是正・予防報告	
□今年度から、目標の設定を変更しました。社内	不良件数が目標未達でした。取引先の認定等
取得に取り組んでいきます。	
異常値を示したものは環境委員会等で常に取り	上げ対応しており、是正処置の手続きは
異常値を示したものは環境委員会等で常に取り は取っていない。	上げ対応しており、是正処置の手続きは
	上げ対応しており、是正処置の手続きは
は取っていない。	
	評価見直し者: 取締役社長 三宅 正恭
は取っていない。	
は取っていない。 代表者による変更の必要性の判断	評価見直し者: 取締役社長 三宅 正恭 記載日: 2024 年 12 月 2 日
は取っていない。	評価見直し者: 取締役社長 三宅 正恭 記載日: 2024 年 12 月 2 日
は取っていない。  代表者による変更の必要性の判断  e a 2 1 を次年度以降進めていく上で変更すべき点があ	評価見直し者: 取締役社長 三宅 正恭 記載日: 2024 年 12 月 2 日 るか明確にする
は取っていない。  代表者による変更の必要性の判断  e a 2 1 を次年度以降進めていく上で変更すべき点があ	評価見直し者: 取締役社長 三宅 正恭 記載日: 2024 年 12 月 2 日
は取っていない。  代表者による変更の必要性の判断  e a 2 1 を次年度以降進めていく上で変更すべき点があ  1. 環境経営方針の変更 □あり	評価見直し者: 取締役社長 三宅 正恭 記載日: 2024 年 12 月 2 日 るか明確にする ・ ■無し
は取っていない。  代表者による変更の必要性の判断  e a 2 1 を次年度以降進めていく上で変更すべき点があ  1. 環境経営方針の変更 □あり	評価見直し者: 取締役社長 三宅 正恭 記載日: 2024 年 12 月 2 日 るか明確にする
は取っていない。  代表者による変更の必要性の判断  e a 2 1 を次年度以降進めていく上で変更すべき点があ  1. 環境経営方針の変更 □あり  2. 環境経営目標の変更 ■あり	評価見直し者: 取締役社長 三宅 正恭 記載日: 2024 年 12 月 2 日 るか明確にする ・ ■無し ・ □無し (必要に応じて実態に合わせる)
は取っていない。  代表者による変更の必要性の判断  e a 2 1 を次年度以降進めていく上で変更すべき点があ  1. 環境経営方針の変更 □あり	評価見直し者: 取締役社長 三宅 正恭 記載日: 2024 年 12 月 2 日 るか明確にする ・ ■無し ・ □無し (必要に応じて実態に合わせる)
は取っていない。  代表者による変更の必要性の判断  e a 2 1 を次年度以降進めていく上で変更すべき点があ  1. 環境経営方針の変更 □あり  2. 環境経営目標の変更 ■あり  3. 環境経営計画の変更 □あり・	評価見直し者: 取締役社長 三宅 正恭 記載日: 2024 年 12 月 2 日 るか明確にする ・ ■無し ・ □無し (必要に応じて実態に合わせる)
は取っていない。  代表者による変更の必要性の判断  e a 2 1 を次年度以降進めていく上で変更すべき点があ  1. 環境経営方針の変更 □あり  2. 環境経営目標の変更 ■あり	評価見直し者: 取締役社長 三宅 正恭 記載日: 2024 年 12 月 2 日 るか明確にする ・ ■無し ・ □無し (必要に応じて実態に合わせる)
は取っていない。  代表者による変更の必要性の判断  e a 2 1 を次年度以降進めていく上で変更すべき点があ  1. 環境経営方針の変更 □あり  2. 環境経営目標の変更 ■あり  3. 環境経営計画の変更 □あり ・  4. 環境経営システムの変更 □あり ・	評価見直し者: 取締役社長 三宅 正恭 記載日: 2024 年 12 月 2 日 るか明確にする ・ ■無し ・ □無し (必要に応じて実態に合わせる) ■無し
は取っていない。  代表者による変更の必要性の判断  e a 2 1 を次年度以降進めていく上で変更すべき点があ  1. 環境経営方針の変更 □あり  2. 環境経営目標の変更 ■あり  3. 環境経営計画の変更 □あり・	評価見直し者: 取締役社長 三宅 正恭 記載日: 2024 年 12 月 2 日 るか明確にする ・ ■無し ・ □無し (必要に応じて実態に合わせる) ■無し
は取っていない。  代表者による変更の必要性の判断  e a 2 1 を次年度以降進めていく上で変更すべき点があ  1. 環境経営方針の変更 □あり  2. 環境経営目標の変更 □あり  4. 環境経営計画の変更 □あり  5. 実施体制の変更 □あり  □あり  □あり  □あり  □あり  □あり  □あり  □あり	評価見直し者: 取締役社長 三宅 正恭 記載日: 2024 年 12 月 2 日 るか明確にする ・ ■無し ・ □無し (必要に応じて実態に合わせる) ■無し
は取っていない。  代表者による変更の必要性の判断  e a 2 1 を次年度以降進めていく上で変更すべき点があ  1. 環境経営方針の変更 □あり  2. 環境経営目標の変更 ■あり  3. 環境経営計画の変更 □あり ・  4. 環境経営システムの変更 □あり ・	評価見直し者: 取締役社長 三宅 正恭 記載日: 2024 年 12 月 2 日 るか明確にする ・ ■無し ・ □無し (必要に応じて実態に合わせる) ■無し
は取っていない。  代表者による変更の必要性の判断  e a 2 1 を次年度以降進めていく上で変更すべき点があ  1. 環境経営方針の変更 □あり  2. 環境経営目標の変更 □あり  4. 環境経営計画の変更 □あり  5. 実施体制の変更 □あり  □あり  □あり  □あり  □あり  □あり  □あり  □あり	評価見直し者: 取締役社長 三宅 正恭 記載日: 2024 年 12 月 2 日 るか明確にする ・ ■無し ・ □無し (必要に応じて実態に合わせる) ■無し
は取っていない。  代表者による変更の必要性の判断  e a 2 1 を次年度以降進めていく上で変更すべき点があ  1. 環境経営方針の変更 □あり  2. 環境経営目標の変更 □あり  4. 環境経営計画の変更 □あり  5. 実施体制の変更 □あり  □あり  □あり  □あり  □あり  □あり  □あり  □あり	評価見直し者: 取締役社長 三宅 正恭 記載日: 2024 年 12 月 2 日 るか明確にする ・ ■無し ・ □無し (必要に応じて実態に合わせる) ■無し
は取っていない。  代表者による変更の必要性の判断  e a 2 1 を次年度以降進めていく上で変更すべき点があ  1. 環境経営方針の変更 □あり  2. 環境経営目標の変更 □あり  3. 環境経営計画の変更 □あり ・  4. 環境経営システムの変更 □あり ・  5. 実施体制の変更 □あり ・  6. その他変更の必要な項目 □あり ・  ■無	評価見直し者: 取締役社長 三宅 正恭 記載日: 2024 年 12 月 2 日 るか明確にする ・ ■無し ・ □無し (必要に応じて実態に合わせる) ■無し し
は取っていない。  代表者による変更の必要性の判断  e a 2 1を次年度以降進めていく上で変更すべき点があ  1. 環境経営方針の変更 □あり  2. 環境経営目標の変更 □あり ・  4. 環境経営システムの変更 □あり ・  5. 実施体制の変更 □あり ・  5. 実施体制の変更 □あり ・  7. 指示事項	評価見直し者: 取締役社長 三宅 正恭 記載日: 2024 年 12 月 2 日 るか明確にする ・ ■無し ・ □無し (必要に応じて実態に合わせる) ■無し し し し し し 知を行ってほしい。